

## TATSUYA MIYANISHI'S MIRACLE WORLD EXHIBITION

# 宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展

### 9月1日(日)まで開催中!

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
月曜休館 ※ただし8月12日(月・休)開館、翌13日(火)休館

宮西さんからの  
メッセージが見られるよ

#### 観覧料

■一般 1,200円(1,000円) ■大学生 1,000円(800円) ( )内は前売および20名以上の団体  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

18歳以下  
無料



大好評につき  
関連イベント  
追加開催!

## あの宮西さんが 周南市美術博物館にまた来るよ~!

### 宮西達也さんによる ギャラリートーク

申込み不要

8月24日(土)・25日(日)  
各日11:00~(約30分)

会場/周南市美術博物館 企画展示室

※参加される場合は観覧券が必要です。

8月も  
ギャラリートークを  
するよ。来てね!



会場入り口では  
レッドくんとウマソウが  
お出むかえ

そう、  
ぼくだって



ライブペインティングで  
どんどん  
絵を描いていくよ



山口初の大規模展で  
宮西ワールドを  
体感してみませんか?

最新作の  
「おまえ うまそうだな  
さよならウマソウ」も  
今回初登場!

講演会では  
宮西トークが  
炸裂!

撮影コーナーもあるよ~!

会場で撮った写真を  
SNSで  
発信してみよう!

★300点以上の絵本原画やラフスケッチが見られるまたとない機会です。お見逃しなく!

←グッズやオリジナルメニューの情報は次のページへ

美術博物館ホームページはこちら



グッズ紹介



ぬいぐるみ  
ウマソウ  
2,900円

定規付き!

ペンケース  
ティラノ(黄色)  
2,400円



ペンケース  
ウマソウ(オレンジ)  
2,400円

定規付き!



カーシェード2枚組 ティラノ  
1,800円



携帯扇風機  
1,900円



トートバッグ(大)  
ティラノ  
黒  
(2色摺 ティラノ20周年)  
2,200円



※表示価格はすべて税込です ※売切れの際にはご了承ください

カフェテラス まど

オリジナル限定メニュー

ぶち・うまソーダ 600円(税込)

さわやかな夏の青い空と海の色ソーダに、白い卵のような丸いアイスクリームを浮かべました。「おまえ うまそうだな」の背景の青をイメージしながらお召し上がりください。



次の企画展は /

谷川俊太郎 絵本★百貨展

9月27日(金)~11月24日(日)

詩人・谷川俊太郎は1960年代から現在に至るまで、さまざまな画家や写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきました。約20冊の絵本の原画をはじめ、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、書き下ろしのインスタレーション作品など、子どもから大人まで「おもしろく楽しい体験」ができる展覧会です。

ただいまチラシ作成中!



東京会場 展示風景(撮影:高橋マナミ)



『もこもこもこ』(絵:元永定正)  
1977年 文研出版



『おならうた』(絵:飯野和好)  
2006年 絵本館

- 一般 1,300円(1,100円)
  - 大学生 1,000円(800円)
- ( )内は前売および20名以上の団体

18歳以下  
無料

9月号で  
会員  
ご招待

LAWSON

ローソンの  
ソフト  
クリーム

各205円(税込)

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

美博クイズ~!〈127〉 もんだい

宮西達也さんがこれまでつくった絵本のなかで、一番描くのが大変だった作品はなんだろう?

周南市美術博物館  
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ( )内は20名以上の団体  
※18歳以下および70歳以上無料 ※「宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展」の観覧券で常設展もご覧いただけます  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日※ただし、8/12開館、翌8/13休館

展示室 4 林忠彦記念室

織田廣喜 8/1(木)~10/31(木)

織田廣喜(1914~2012)の生誕110年にちなみ、林が30年以上にわたり撮り続けた「織田廣喜」シリーズを展示します。

林忠彦は二科会の東郷青児から相談を受け、1953(昭和28)年に写真部を創立させました。その打ち合わせでしばしば東郷の家を訪れていた際に、画家の織田廣喜と出会いました。二科展の準備や審査の時も黙々とよく働いている姿や不思議な魅力を持った彼の絵に惹かれた林は、織田に「写真を撮らせてほしい」と頼みます。



1954(昭和29)年、東京・高井戸の織田の家を撮影で訪れた林は、水道、電気、ガスもなく、絵を描くためだけに建てた小屋というような家を見て、驚きながら感心したと語っています。この家は織田とリラ夫人の手造りで、長男広比古とともに3人で暮らしていました。

「窓辺に憩う画家と下から見上げる坊や」  
林忠彦撮影

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の  
展示は9/29(日)まで

ケース内には、まどさんの絵本を展示しています。

『いっばい やさいさん』には、とまと、きゅうり、にんじん、なす、とうもろこしなどいろいろな野菜が登場します。どの野菜も自分が自分であることに喜びを感じていて、絵本でもまどさんの詩と同じ世界観が表現されています。



徳山の歴史 特設コーナー

没後140年 徳山藩九代藩主 毛利元蕃 もとみつ  
9/16(月・祝)まで展示中

展示中の元蕃の書は、父・広鎮の米寿(88歳)を祝う漢詩をしたためたもので、元治元(1864)年の作と思われます。この年7月には禁門の変がおこり、8月にはその責任をとって萩藩の3人の家老が幽閉され、のちに処罰されました。その中に、広鎮の六男であり元蕃の兄で、福原家の養子となった元備(もとたけ)もいました。米寿を迎えた広鎮の胸中は複雑であったと思われます。



第22回 周南市美術展2024

美術展に出品してみませんか?  
平面 立体 書 写真 4部門で募集します!

申込期間 令和6年 11月1日(金)~12月27日(金)必着

●市美展大賞 賞状・副賞10万円  
(正賞作品の40%~50%)

●市美展準大賞 賞状・副賞3万円5千円(40%~50%)

●市美展賞 賞状・副賞1万円5千円(40%~50%)

●奨励賞 賞状(40%~50%)

※制作されている作品は応募可能です  
※入選以上の作品は美術館に展示されます  
※入選以下の作品は出品料無料です

◆参加費  
前期(平面・立体) 令和7年2月12日(水)~16日(日)  
後期(書・写真) 令和7年2月19日(水)~23日(日・祝)

市美展大賞「愛の巣」 池田 隆夫

準大賞【平面】「雪中鳥」 野村 真也

準大賞【立体】「清島ありけいん」 池田 隆夫

準大賞【写真】「秋の光」 丸山 孝徳

準大賞【書】「山はゆらゆら」 池田 隆夫

詳しい募集要項はチラシ裏面もしくは右記、二次元コードをご覧ください

【第22回 周南市美術展2024】のお知らせ

申込期間や開催時期を変更しておりますので、ご注意下さい。

- 申込期間 11月1日(金)~12月27日(金)必着  
※開催要項は11月上旬から配布予定です
- 会期  
前期〔平面・立体〕 令和7年2月12日(水)~16日(日)  
後期〔書・写真〕 令和7年2月19日(水)~23日(日・祝)

事前  
申込

最新情報は、市のホームページでご確認ください▶



ひばく 美博クイズ~! <127> こたえ

『ぶたくんと 100ぴきのおおかみ』(右図)(1991年 鈴木出版)だよ。おおかみを100匹描くのがとても大変だったそうだよ。数えられるかな? 企画展では、この絵本の原画も展示しているのでぜひ観に来てね。



『ぶたくんと 100ぴきのおおかみ』(1991年 鈴木出版) ©宮西達也

## ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

宮西達也の世界  
ミラクルワールド絵本展  
～9/1(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

空調工事等のため、  
2025年1月10日まで休館

防府

毛利博物館 ☎0835-22-0001

「毛利のおとのさま  
—激動と波乱の長州藩14代—」  
～9/2(月)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

没後50年  
香月泰男のシベリア・シリーズ  
～8/25(日)

山口県立山口博物館 ☎083-922-0294

大解剖! からくりワールド  
～8/25(日)

萩

萩博物館 ☎0838-25-6447

萩博物館開館20周年記念特別展  
「海の妖怪展」  
～9/23(月・休)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

「没後50年 香月泰男展  
第二期1955→1965」  
～9/30(月)

下関

下関市立美術館 ☎083-245-4131

所蔵品展「夏特集／韓国現代美術」  
～8/25(日)

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

下関戦争160年記念特別展  
「攘夷と海峡」  
～9/29(日)

～TOSOH PARK 永源山の中にある美術館～

## 周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

※空調工事等のため、2025年1月10日まで休館



当館はふるさと周南市の画家、尾崎正章の作品を中心に、地元の作家の作品を紹介する施設として、1995年に開館しました。空調工事等のためしばらく休館となりご迷惑をおかけします。この機会に尾崎正章の歩んだ足跡を当コーナーで紹介します。

## 尾崎正章の作品

## 5. 「人物を描く」

尾崎正章は戦後から1965年頃まで、人物画を数多く描いていました。当時モデルとなったのは、同級生の娘さんや地元福川の漁師など身近な人たちでした。彼は「(中略)人ならば、話し、動き、生活する人を描きたい。その人の性格、場合によっては職業までも十分現わしたい」<sup>注1)</sup>、そして師と仰いだ安井曾太郎の考えを受け継ぎ「人物画も生きていなければならない」<sup>注2)</sup>と語っています。その言葉通り、ある時は白い色調の中に、またある時は色鮮やかな花柄模様や青い海を背景に、彼らは絵の中で、描かれた時のまま生き生きと存在し続けています。

「くしげずるM嬢」  
1957年 油彩・キャンバス

「花模様」1964年 油彩・キャンバス



「瀬戸内のいわし網漁夫」1970年 油彩・キャンバス

注1)『美術新論』1933年1月号(美術新論社)より  
注2)『尾崎正章展』図録 1990年(発行 新南陽市)P.6より

〈次回「静物を描く」に続く〉

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。 <http://s-bunka.jp/kyoubi/>

県大会の結果も出ていない段階で、中国大会をみこして練習をされる学校もあり、帰られるときに顧問の先生と中国大会でお待ちしていますなどと、挨拶を交わす時もあります。

今年も、8月に中学校の県大会が開催されます。学校や文化会館で練習した成果を発揮できるよう、舞台職員は日々頑張っています。

(河村)

ミニコラム  
ガス燈

学生の夏休み時期になると、大ホールで学生の吹奏楽部員をよく見かけるようになります。

その理由は、吹奏楽では、音響反射板を使用し生の音を客席に響かせるため、音の良いホールがコンクール会場に選ばれます。周南市文化会館が吹奏楽コンクールの県大会の持ち回りの会場であり、中国大会は山口県で行われる場合、ここので開催されないからです。そのため、本番の会場で練習をして会場に慣れるなどの目的で各学校の練習が隙間なく入ります。中国大会の開催がある夏になると、県外の学校から練習の申し込みがあります。